

平成25年2月8日

ESDワークショップ&講演会 ESD(持続可能な開発のための教育)を知ろう!深めよう!

20世紀から21世紀にかけ、人口増大による生活圏の拡大、工業化の進展にともなう資源・エネルギー大量消費などで、地球環境が急激に変化してきています。地球環境の急激な変化をもたらしたのは、私たち自身の生活の在り方です。このままの生活を続けられれば、地球も人類も持続可能なものにはならないと考えられるようになってきました。人類の生活を持続可能なものにするには、私たち自身のライフスタイルや価値観の転換を促すことが求められます。

1992年ブラジルのリオデジャネイロでの地球サミット(国連環境開発会議)では、「アジェンダ21」と呼ばれる持続可能な開発のための世界的な行動計画が話し合われ、2002年のヨハネスブルクサミット(持続可能な開発に関する世界首脳会議)では、日本政府と日本のNGOの主導で持続可能な開発のための教育(ESD=Education for Sustainable Development)が提唱され、2005年からユネスコの提案する国際実施計画案に基づき各国がESDに取り組んでいます。最終年の2014年には隣県岡山で世界大会も開催されます。

新学習指導要領にも、「持続可能な社会」という文言が中学校では社会、理科、技術・家庭科、高等学校では世界史AB、地理A、現代社会、政治・経済、理科の全科目、保健体育、家庭科、工業科、理数科で入りました。小学校では社会科の目標の解説で、「持続可能な社会の実現を目指す」という文言が見られます。この文言にはESDの趣旨が盛り込まれているのですが、教育現場ではこのことを知っている先生は多くありません。

そこで、今後ますます学校教育で実践が求められるESDの今日的課題を明らかにするとともに、その解決に向けてどのように取り組めばよいかを考える契機にするためワークショップ&講演会を企画しました。香川大学大学院生が、参加者を対象にESD授業を行います。その後、福山市立大学教育学部児童教育学科教授田淵五十生先生に「ESDって何?どうすればいいの?—持続発展教育の時代がやってきた—」というテーマで、ご講演いただきます。ESDの研究だけでなくESDの教育現場の指導に関わっておられる田淵先生の豊かなご経験と幅広い研究から、今後の学校教育で推進が求められるESDに関わる多くの示唆が得られるものと思います。多数の方にご参加いただき、参加者のESD理解の深化と香川でのESD振興をはかっていきたいと考えております。参加費無料ですので、ぜひご参加ください。

日時：平成25年2月17日(日) 14:00~17:00

場所：常盤街商店街内の香川大学ミッド・プラザ

(高松市常盤町1丁目9-31 TEL087-813-0233)

プログラム

①ESD授業を体験しよう!(香川大学院生によるESD授業)

②講演「ESDって何?どうすればいいの?—持続発展教育の時代がやってきた—」

(福山市立大学教育学部児童教育学科教授 田淵五十生)

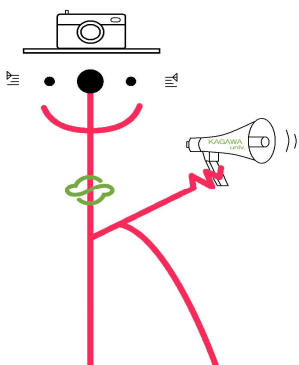
参加費等：参加無料、事前のお申し込みが必要ですが、当日参加も可能です。

申し込み・連絡先

平成25年2月14日までに、氏名、所属(または職種)、連絡先(電話番号、ファックス、E-mailアドレス)を記入の上、ファックス、E-mailのいずれかでお申し込み下さい。当日参加も可能です。

なお、会場には駐車場がありません。近隣の有料駐車場をご利用されるか、公共交通機関をご利用下さい。

なお、会場は琴電瓦町駅から徒歩3分程度の所にあります。



➤ 問い合わせ先

香川大学教育学部 社会科学教育研究室 伊藤 裕康

TEL&FAX 087-832-1072 (研究室)

E-mail: hitou@ed.kagawa-u.ac.jp

ESD ワークショップ

& 講演会

ESD (持続可能な開発のための教育) を知ろう! 深めよう!

平成 25 年 2 月 17 日(日) 14:00~17:00

常盤街商店街内の香川大学ミッド・プラザ

(高松市常盤町 1 丁目 9-31 TEL087-813-0233)

参加無料

ESD, E! SORE, DONNAKOTO?と思われたあなた, 大歓迎
もちろん, ESDを知っていてもっと深めたい方も大歓迎

プログラム

- ①ESD 授業を体験しよう! (香川大学教育学研究科生による ESD 授業)
- ②ESD って何? どうすればいいの? - 持続発展教育の時代がやってきた -
(福山市立大学教育学部児童教育学科教授 田淵五十生)

南極のアデリーペンギンの個体数の大幅減少, カナダ北部のホッキョクグマの飢餓や体重減少などが報告されています。両極の氷の溶解面積が広がり, 希少動物の生息域が縮小していることによる, といわれます。20 世紀から 21 世紀にかけ, 人口増大による生活圏の拡大, 工業化の進展にともなう資源・エネルギー大量消費などで, 地球環境が急激に変化してきています。地球環境の急激な変化をもたらしたのは, 私たち自身の生活の在り方です。このままの生活を続ければ, 地球も人類も持続可能なものにはならないと考えられるようになってきました。人類の生活を持続可能なものにするには, 私たち自身のライフスタイルや価値観の転換を促すことが求められます。

これらの問題を世界全体で考えるようになったきっかけは, 1992 年ブラジルのリオデジャネイロでの地球サミット (国連環境開発会議) です。この時, 「アジェンダ 21」と呼ばれる持続可能な開発のための世界的な行動計画が話し合われ, 各国が協調して社会開発や環境保全などのバランス, 現代世代と将来世代の公平性を実現する社会を考える SD (=Sustainable Development) の考え方が明文化されました。2002 年のヨハネスブルクサミット (持続可能な開発に関する世界首脳会議) では, 日本政府と日本の NGO の主導で持続可能な開発のための教育 (ESD=Education for Sustainable Development) が提唱され, 2005 年からユネスコの提案する国際実施計画案に基づき各国が ESD に取り組んでいます。最終年の 2014 年には隣県岡山で世界大会も開催されます。

新学習指導要領にも, 「持続可能な社会」という文言が中学校では社会, 理科, 技術・家庭科, 高等学校では世界史 AB, 地理 A, 現代社会, 政治・経済, 理科の全科目, 保健

体育，家庭科，工業科，理数科で入りました。小学校では社会科の目標の解説で、「持続可能な社会の実現を目指す」という文言が見られます。実は，この文言には ESD の趣旨が盛り込まれているのですが，教育現場ではこのことを知っている先生は多いとは言えません。そこで，今回のワークショップ&講演会は，今後ますます学校教育で実践が求められる ESD の今日的課題を明らかにするとともに，その解決に向けどのように取り組めばよいかを考える契機にしたいと思い企画しました。そのために，香川大学教育学研究科教科教育専攻社会科教育専修生が，参加者を対象として ESD 授業を行います。その後，福山市立大学教育学部児童教育学科教授田淵五十生先生に「ESD って何？どうすればいいの？ー持続発展教育の時代がやってきたー」というテーマで，ご講演いただきます。

田淵先生は，ESD の研究だけでなく ESD の教育現場の指導に関わっておられます。田淵先生の豊かなご経験と幅広い研究から，今後の学校教育で推進が求められる ESD に関わる多くの示唆が得られるものと思います。多数の方にご参加いただき，参加者の ESD 理解を深めるとともに，香川での ESD 振興をはかっていきたいと思ひます。

講師紹介



田淵 五十生先生(福山市立大学教育学部児童教育学科教授)

ESD (持続可能な開発のための教育) の教育内容と教育方法について，特に人権教育と平和教育と世界遺産教育に焦点化して研究しておられます。

略歴

昭和 43 年 3 月に広島大学教育学部高等学校教員養成課程社会科(歴史専攻)卒業，昭和 46 年 3 月に広島大学大学院文学研究科西洋史学専攻修了した後，同年 4 月～昭和 60 年 3 月まで広島女学院高等学校教諭，昭和 60 年 4 月より奈良教育大学助教授，教授を経て，平成 23 年 4 月より現職。平成 6 年 9 月～平成 7 年 6 月まで英国ヨーク大学客員研究。

【主な著書・論文】

『国際理解・人権を考える社会科授業』(明石書店，1990 年，単著)

『在日韓国・朝鮮人理解の教育』(明石書店，1991 年，単著)

『<体験>国際理解と教育風土-英国ヨーク大学からの便り-』(アカデミア出版会，1998 年，単著)

『“人権”をめぐる論争・争点と授業づくり』(明治図書，2006 年，編著)

「日本の教師教育と異文化間教育」(『異文化間教育』第 26 号，2007 年，単著)

「世界遺産教育とその可能性 -ESD を視野に入れて-」(『国際理解教育』第 15 号，2009 年，単著)

【申し込先／連絡先】

平成 25 年 2 月 14 日までに，氏名，所属(または職種)，連絡先(電話番号，ファックス，E-mail アドレス)を記入の上，ファックス，E-mail のいずれかでお申し込み下さい。当日参加も可能です。ただ，机の数に限りがあり，参加者数により椅子のみでのご参加となることもあります。なお，会場には駐車場がありません。近隣の有料駐車場を利用されるか，公共交通を利用下さい。なお，会場は琴電瓦町駅から徒歩 3 分程度の所にあります。

香川大学教育学部社会科教育研究室(担当：伊藤)

Tel&FAX 087-832-1072 E-mail:hitou@ed.kagawa-u.ac.jp